

加工上の注意マニュアル(眼鏡店様向け)

Rewrite(リライト)のレンズ作成前に必ずご確認ください

Rewrite

リライト



近視の度数が強い場合は注意してください。
レンズにより外側のレンズと干渉する場合があります。
作成参考値 参考 SとCあわせて-4.0 参考 P D62以上 (それ以上の度数もカット方法により眼鏡レンズ製作が可能な場合もあります。各店舗様にて確認の上ご対応ください。)
レンズ外径が大きいため遠視度数には向いていない可能性があります。
(中心厚が増すため、レンズが干渉する場合がある)
強度近視や乱視の強い方は、Rewrite方式が合わない可能性があります。
確認の上製作してください。

トレーサー使用時の注意点

眼鏡店様によって、機械は違うと思います。
状況にあわせて対応をお願い致します。
2重の溝があるためフルオートにてトレースすると、引っかけり弾かれる場合があります。
メガネ用の溝に半自動にてトレース開始場所をセットしてください。

トレースしたデータ、そり角、フレームFPDを眼鏡レンズ発注システムへ入力レンズ作成。
(テスト作成時はMEGANET Proにて、ニコン・エシロール製6カーブレンズカットにて製作)
眼鏡店様にて対応できるレンズにて作成いただいで問題ありません



そり角を測るとき

お客様がかけた状態でどのくらい広がるかを確認し、そり角を必ずシステムへ入力してください。

一般的な方法以外でカットする場合

お客様がレンズを交換する際は右図1のようにレンズをスライドさせるため、レンズの最大部分が拡がります。
レンズ外径はきつめにカットし、拡がったときにレンズが外れないようご考慮ください。

図1



その他の注意点

- 近視用の度数が強い場合は注意してください。レンズの厚みがあるためフレームに入らない可能性があります。
- レンズ外径が大きいため遠視度数には向いていない可能性があります。(中心厚が増すためレンズが干渉する場合がある)